



Flash News

フラッシュ ニュース

第142号

❀ 平成27年度からの新体制紹介 ❀

新任挨拶

駒田 美弘 第12代三重大学長

第3期中期目標、中期計画の達成を目指して、新しい執行部がスタートします。それぞれの役割を担当する5人の理事、8人の副学長が一つのチームを形成し、心が通い合い働きがいのある元気な大学づくりを目指します。そして、三重大学の大切な役割：逞しい人財の育成、独自性豊かな研究、地域における「知」の拠点形成、グローバル社会に対応した国際交流、世界に誇れる環境先進大学づくりを、教職員の皆さんと一緒に推進して行きます。三重県に位置する総合大学として、地域を元気に活性化するため、オール三重大学で取り組みたいと思います。



内田 淳正 第11代三重大学長

退任挨拶

6年間学長の重責を果たすことができたのは皆様のご支援のおかげと感謝しています。時の後押しもあって教育研究の環境整備は進みました。スマートキャンパス実証事業と相まって環境先進大学として全国の先陣を切る基盤はできあがったと思います。地域との産学官連携も進み、日本をリードする立場となりました。世界はもとより地域に貢献する人財を養成するため教養教育機構を立ち上げ、元気で活力のある学生が溢れるキャンパスになることを夢見ています。そのためには社会が大学に何を求めているかを考え、活動する教職員となることを願っています。皆さんの活躍を祈っています。



理事挨拶

教育



山本 俊彦

教育担当の理事を拝命いたしました山本です。ミッションの再定義、3つのポリシーの整合性と体系的な教育課程の確立、入試改革等々、大学の教育の質の保証・転換に向けた取り組みが山積しております。さらに、第3期中期目標・中期計画では、大学の強みや特徴を踏まえた機能分化と戦略的な取り組みが問われています。結論や結果の急がれる課題ばかりですが、共通の認識に立った全学的な取り組みであることが重要であり、そのためには、一つ一つ丁寧に議論を積み重ね、三重大学にとってのより良いあり方や方向性を見出していくことが大切だと考えておりますので、何卒ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

研究・国際交流



鶴岡 信治

優れた研究は地域イノベーションを起こす人材を育成するために不可欠な活動です。地域社会での問題について自由な発想で本質を解明し、グローバルな視点に立って独創的な解決方法を見つけ、地域社会に移転すれば地域が豊かになります。そして、その地域は世界中の人々にとってあこがれの地となり、人が集まり、国際交流が自然に生まれます。「地域イノベーション大学」を目指し、皆様方が取り組んでいる三重大学発の世界水準の研究を支援し、質の高い国際交流を活発にしたいと考えています。よろしくお願いいたします。

企画・評価



尾西 康充

本年度から企画・評価を担当することになりました。企画においては、地域圏大学として三重大学が地域社会に貢献するのみならず、全国的かつ世界的水準の研究を国内外に示すために、戦略的な運営体制による大学の機能強化に取り組めます。三重県ならびに東海圏が抱えている問題は何か、その問題に対して三重大学はどのように応えるのか、この観点を深め、方策を検討することによって、三重大学の存在意義を高める処方箋が得られると考えます。評価においては、各年度の文部科学省による評価に十分応えられるように、学内の多様な活動を調査集約し、評価書に盛り込みたいと考えています。

情報・環境



加納 哲

学術情報基盤は教育と研究さらに業務を支える大学の神経であり、短時間でも機能を停止することが許されない状況にあるとともに、さらに高度に発展させてゆくことが求められる分野です。環境については、三重大学は世界に誇れる環境先進大学を目指し、既に高い評価を得ています。これは三重大学の特徴の一つになりつつあります。本学の情報ネットワークや環境についての取り組みはいずれも先進的であり、これらをさらに発展させてゆく必要がございます。そのためにも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

総務・財務



鈴木 英

駒田体制のスタート。引き続き、総務、財務担当理事・事務局長を担当させていただきます鈴木です。平成27年度は、第2期中期目標期間の締めくくり、そして、第3期の準備期間としてとても大事な時期です。国立大学を取り巻く状況は大変厳しい状況です。また、三重大学が抱えている課題も山積していますが、課題解決に向け、事務組織をとりまとめ、駒田学長をしっかりと支え、三重大学の発展のためにがんばってまいりますので、よろしくお願いいたします。

監事挨拶

三重大学監事に就任して3年になりました。昨年からは「全国監事協議会東海・北陸地区代表世話人」も勤めております。3年間、仕事をする中で感じた事は「三重大学に対する地域社会の信頼は非常に高い」ということです。これは、学生・教員・職員の皆様方の努力のたまものだと思います。本学がこれからも社会からの高い期待に応え続けることが出来るように、私も三重大学の皆様と一緒に努力をしてまいりたいと考えていますので、どうぞ宜しくお願い致します。



橋本 洋一



山中 利之

田島和憲監事の後任として、平成26年4月に監事に就任いたしました。昨年度は、監査を行うというよりは、内田学長をトップとする役員会に出席して、大学の運営に係る意思決定の現場に臨み、いろいろ勉強させていただいたというのが、実感です。今年度からは、常勤監事の橋本さんとの業務分担を心がけ、私は公認会計士としての立場から、大学の収支及び財産保全に重点を置くような形で業務を行っていきたく考えております。また、外部の会計監査人との連携を図り、効率的な監査を心がけたいと存じます。非常勤という立場上、まだ、不慣れな点も多々ありますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

副学長挨拶

教育



富樫 健二

教育担当副学長を拝命いたしました富樫です。新理事の山本先生の後を継ぎ教員免許状更新講習、高大連携推進を担当させていただきます。約120講習、のべ3,000人規模の先生方に教育・研究における最新情報を知っていただく教員免許状更新講習や、SSH(Super Science High School)、SGH(Super Global High School)等のサポート、東紀州講座、サマーセミナーの開設など、皆様方のお力添えをいただきながらつつがなく進めていきたいと思っております。ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

学生総合支援

学生総合支援担当の副学長として、引き続き2年間担当させていただくことになりました。学生に、「三重大に来てよかった」、「三重大を元気にしてもっとよくしたい」と思ってもらえるようにすることが学生支援の基本です。修学支援、就職支援、学生相談、留学生支援、ピア・サポート体制、課外活動等の整備と充実に向けて、教職員の皆様をはじめ、学内外の諸機関や地域と連携しながら、学生が充実した学生生活を過ごせるよう、全学的視点からの支援に努めたいと考えております。皆様のご支援とご協力のほどをお願い申し上げます。



後藤 太一郎

研究



吉岡 基

本年度より、研究担当の副学長を仰せつかることになりました。研究力を客観的に分析し、本学の強みを機能強化に活かす研究戦略の立案と実行、そして公正な研究を推進するための体制作りと対策と実行、これらがこれからの私の任務になると認識しております。鶴岡理事を補佐し、教員の方々をはじめ、三重大で研究に携わるすべての皆様にとって、よりよい研究環境・体制が構築できるよう、この2年間、微力ではありますが尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

社会連携

地方創生への取り組みが本格化してきており、三重大には三重地域圏の活性化に寄与することへの期待がこれまでになく高まっています。社会連携担当副学長として、本学の教育・研究活動で生み出される「成果」を社会に還元することに真摯に取り組み、本学の地域における価値と役割を高めることに少しでもお役に立てればと思います。今後ともご協力とご指導のほどよろしくお願いいたします。



西村 訓弘

国際交流



堀 浩樹

前期の国際交流担当理事・副学長から引き続き、国際交流担当副学長を担当させていただくことになりました。明確な国際化戦略の下に、三重大の教育研究環境の国際化、学生の海外研修機会の拡充に取り組みたいと考えています。それにより国際通用性のある能力をグローバル社会と地域社会で発揮できる人材の育成を目指したいと考えています。

広報

三重大は挑戦する大学として様々な取り組みをしています。その意欲的な活動を多くの人に伝えるのが広報担当副学長の役割です。教員や職員だけでなく、学生の取り組みも伝えて、地域に開かれた大学をアピールすることができればと思います。三重大には新たにスタジオもでき、番組の制作も独自にできるようになりました。ホームページや広報誌、新聞やテレビでの報道などを通じて、多くの人と三重大がつながることを願っています。



児玉 克哉

危機管理



新保 秀人

27年4月1日より三重大副学長危機管理担当を拝命しました。担当する領域は危機管理、防災、保健管理です。東南海地震の発生が強く懸念されている昨今に加えて三重大学生、教職員あわせて約1万人の方の健康管理も担当することになり、責任の重さを痛感している次第です。防災面では有事の際の復興のシナリオの作成に近日中に取りかかることにしています。備えとしては訓練も重要です。その際には皆様方のご協力をお願い致します。

附属病院

本年度も引き続き医学部附属病院長を拝命しました伊藤でございます。医学部附属病院では、2012年の新病棟開院に続き、本年の5月には新外来棟が開院し、ここに新しい三重大医学部附属病院の姿が完成することとなりました。今後、県唯一の特定機能病院として、先進医療、高度医療など、三重県の医療における最後の砦の機能を果たすと共に、臨床研究や医療人の人材育成を通じた地域医療への貢献も進め、皆様のご期待に沿えるよう活動して参りますので、よろしくお願いいたします。



伊藤 正明

✿ 学長補佐 ✿

教務



杉崎 鉦司

キャリア教育



中川 正

入試



飯田 和生

研究



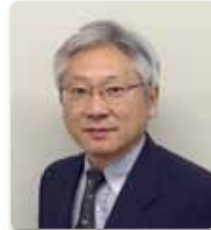
堀内 孝

国際交流



吉松 隆夫

防災



畑中 重光

✿ 参与 ✿



武田 保雄

✿ 学長顧問 (任期:平成27年5月1日~平成28年4月30日) ✿



内田 淳正



珠玖 洋

✿ 理事退任挨拶 ✿

統括・教育



田中 晶善

4年間、教育担当理事を務め、この間、様々な課題に直面しました。県内の大学生の半数以上をかかえる三重大学のよ
うな地方大学には、特有の課題と社会からの期待があることを痛感します。この4月に新しい教養教育が発売しまし
た、その成否(専門教育ではなく全人教育)が、三重大が社会からの付託に応えうるかどうかの指標になるものと考え
ています。業務を支えていただいた多くの方に感謝いたします。

企画・評価・環境



朴 恵淑

企画において、三重県の「男女がいきいきと働く企業」に大学初となる認証取得及びグッドプ
ラクティス賞を受賞し、男女共同参画事業及び学生委員会の創設、女性の大活躍推進三重県会
議の会員となりました。評価において、大学機関別認証の良好な評価を得るとともに第2期中期目標・計画の中間報告書
をまとめました。環境において、「世界一の環境先進大学」として、二酸化炭素30%削減に成功したスマートキャンパス及
びMIEUポイント制度の推進、持続可能な開発のための教育(ESD)コンソーシアム事業の展開により、環境大臣賞・文部
科学大臣賞・経済産業大臣賞を受賞し、エコ大学ランキング1位及び5つ星大学となりました。輝かしい業績を上げる過
程において教職員や学生のご協力に感謝すると同時に、時代をリードする三重大のさらなる発展を願っています。

✿ 副学長退任挨拶 ✿

研究



堀内 孝

吉岡理事の補佐役を2年務めさせて頂きました。この間、研究推進戦略室会議議長として研究支援制度の整
備、実施を行いました。また、三重大の研究力分析に着手し、三重大の研究力を客観的に捉え、本学の研究活
性化のため多少なりとも貢献できたものと思います。三重大サイエンスカフェ(学外)、学内サイエンスカフェや医
工連携を通して、学部間連携も若干ではありますが前進することができました。退任にあたり皆さまには大変お
世話になりました。あらためて御礼申し上げます。

国際交流



江原 宏

学長補佐を3年、副学長を4年の計7年間にわたり国際関係を担当させていただきました
。2人の学長、4人の理事の下で務めさせていただき、また、総務・財務、教育、研究担当の
理事からのご支援、ご指導もいただき、ダブルマスターディグリープログラムの設置、フィールドスタディー、国際
大学国流セミナーといった国際交流プログラム、あるいは外国との学長会議の運営などに携わることができま
した。退任にあたり、これまでお世話になりました各部局の皆様にあらためて感謝申し上げます。